闘争！　これらこの大衆動員を利用した斗争方針の実践を果さなかった
のみか、それはこの選挙斗争を通じて反戦斗争へ大衆をアッピールする
ことを明白に拒否する階級的義務すら放棄して斗争し得なかったのだ。
一九二七年に政友会内閣の手に依って行はれた府県会選挙に比して、
言論の干渉は割合に寛容であった。が反面に官憲の援助下に白昼公然
と行はれた候補の経済的買収と供応、この反動的選挙干渉は極度
に生活窮迫にあへぐはれた大衆の特に現金に籠絡してゐる農民の買収に
大衆に成功した。しかし本聯合会はこの悪辣極まる選挙妨害と抗争
しつゝ、選挙戦術を遂げたが、日常斗争の集中的斗争として展開することに全パーセ
ントの成功を遂げたか否であるが、郷布された斗争力の集級と選
挙斗争の続へとかいだ委員会、職工所働組合、農民組合との不統へ
及び組合が党の斗争に解消してしまつた（この点とこそ、労農組
合と党との関係に対する理解を欠いてゐた。闘争組合独自の選
挙斗争を展開し得なかった等がその失敗する原因を成して

六、我等は惨敗した。

しかも結果の結果は余りにも惨めだつた。これを全国的に見るならば
労大一〇〇、社民六七、地方無産その他八〇、計一八七名の立候補者中
当選者は労大一六、社民八、その他一名、計一七名、これを一九二八
七年の成績と比較して見よう。前回の立候補者数八八へ、当選八八、四
年前の労農、日労、社民、日農、四党補欠に対し戦績は労資協調

（四）

の社会民主義政党社会民衆党との階級的叛逆にまで発展し、し
かも四年間の奴ふどろの闘争に大衆は成長しなかつたのだらうか？ブ
ル新聞の無産政党惨敗すずの責任のない新聞さへ批判に頭を下げさせられる！
程に本聯合会も甚しく惨敗した！
その得票数を比較し

辻井民之助	（上京）	一三九〇
田中義男	（東山）	一四九八
神田兵三	（中京）	一一九九
津市太郎	（下京）	一〇三九
池辺総八	（中京）	三八四
松田弁七	（相楽郡）	七〇〇
計		六六六〇票

前回労働農民党が得た得票数に及ぶべくもない、しからば社民総部は如
何？

社民	本郷大雄	（上京）	七〇九
〃	渡辺清八	（中京）	一八〇
〃	吉田文雄	（下京）	
〃	奥井源次郎	（伏見）	二八四
総部	坂本静三	（東山）	四六八

如何にこれら社民のダラ幹共が反動的策動までして以消しがらうとブ
ルジョア政党の本質を暴露した社民党は今や完全に大衆から遊離

5